

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	事業所は地域に向けて認知症ケアの理解や実践を発信しているが、より具体的な支援の方法を地域の方々に向けて、強力に推し進める必要がある。	認知症における事業所の力を活かした地域貢献をする。	地域包括支援センターによせられる地域の方々の相談を受け、定期的な「介護のつどい」を開催していくなかで、より専門的な知識に基づいた「認知症を治す」という理論の実践を研修していく。	12ヶ月
2	5	事業所のケアサービスの取り組みをより積極的に伝え、行政との協力関係を築き、利用者の支援を得る必要がある。	市町村との連携を密にし、入所の方々の支援と協力関係を築く。	市委託の地域包括支援センターだけでなく、直接市町村の担当者とは日頃の連絡を密に取れるような運営をしていく。また、家族の人達が集う機会に行政の担当者にも参加してもらう機会をつくる。	12ヶ月
3	49	車椅子で作業できる畑や受診時など、なるべく日々の外出の機会を作るよう努めているが、本人の希望に沿うという課題は残されている。	一人ひとりのその日の希望に沿った外出支援ができるように努める。	ストレス発散や五感刺激をねらう定期的な外出だけでなく、本人のその日の体調や希望に沿った外出ができるよう、日常のプランの中に入れていく、また皆に喜んでもらえるような泊りがけでの温泉旅行もプランニングする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。